

2019年5月、ローナル君よりレポートが届きました！



彼女は alisson (アリソン) です。
2019年4月2日に capedis にやって来ました。
彼女は 2007年7月23日生まれます。
アリソンは孤児の家に住んでいましたが、彼女が住んでいた孤児の家は閉鎖されてしまったためにカペディスに来ました。
彼女は自閉症、精神遅滞の障害を持っています。それは彼女が脊椎に腫瘍を持っているためではないかと思われるので、今色々な検査をしています。その腫瘍が悪性か良性かもまだわかりません。
alisson は音楽がとても好きです。
私たちが話す全てのフレーズを繰り返すのでオウムのように見えます・・・hahaha!

お・ま・け♪



ローナルくんの
介護役で来日して
いたエミリオが作った
大根!

とても上出来ですね♪
素晴らしいっ!!

エミリオ器用だなあ・・・



彼はキューバから来た
CAPEDIS の新しいボランティアで
ジェイソンといいます。

現在、教会の司祭になるために
勉強しています。

たのしいですね!

野原昭子さんより、支援して下さる皆さまへメッセージ

日本でボリビアの厳しい現状についてお話し、皆様には大変ご心配おかけしております。

ただ、神様はいつも私たちの事を気にかけて配慮してくださっていることを、決して忘れて

はいません。何年か前にイエス様から「この家 (CAPEDIS) は私の家だ」と言われました。それ

ならばその家の運営になぜ心配ばかりするのか?と・・・叱られますネ (笑)

今年、ここ BOLIVIA で急激に支援者が現れ始めました。これは神様のなさることですね。

家のための支援者、畑の支援者、その上店にも大学生のプロジェクトが研究を始めました。

ただ感謝するばかりです。日本の皆様の多岐にわたる多大な協力を感謝しながら、ここでの新しいグループが自分たちの国 BOLIVIA のために動き出したことは嬉しいことです!

ご支援下さる皆様が、重荷にならないご支援をお願いいたします。

皆様方に心から感謝しながら 野原 昭子

CAPEDISを支援して下さる皆さま方へ

エルピス会便り51号を発行するにあたり、この20年間のエルピス会便りを読み返してみました。

そこには、関わって下さったたくさんの方のあふれる程の大きな愛と、ボリビア「聖マルティンの家」の利用者達の努力と頑張りが見えてきました。20年の間、それらを観てきた私たちは、なんと多くを学び、神様の計り知れない愛と不思議な業を感じて来たことでしょう。

ここに改めて、その全てに感謝の意を表したいと存じます。本当に有難うございました。

今後とも、どうぞよろしくお願いいたします!

2019年6月吉日 エルピス会 俵 靖子